

競技注意事項

1. 本大会は2007年度日本陸上競技連盟競技規則により実施する。
2. 国立競技場使用上の注意
 - イ) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
 - ロ) 更衣室は指定された場所を厳守して使用すること。また、荷物は個人で責任を持って管理すること(更衣室は使用した個人が使用後清掃すること)。
 - ハ) 競技場は全天候舗装である(競技規則第143条の競技用靴に関する条項を参照)。
 - ニ) ダッグアウト・回廊での練習、国立競技場周辺での集団走は事故防止のため厳禁とする。
 - ホ) ランプ下付近にシート等を敷いて場所を取ることを禁止する。
 - ヘ) 競技場内での全ての電源の使用を禁止する。見つけた場合、厳重に注意する。
 - ト) 競技場内での喫煙は一切禁止する。
3. 練習について

練習は、ランプ下の直走路を使用すること。また、上記のとおりコンコース(回廊)を使用しての練習は一切禁止とする。
4. ナンバーカードについて

ナンバーカードは大学受付の際に配布した正規のものを2枚そのままの大きさと胸と背に確実につけること。なお、腰ナンバー標識は主催者側で用意するが、レース終了後回収する。
5. 応援について
 - イ) スタンドからの応援はメインスタンドのみとする。また、トラックの8レーンより外側で応援することもできるが、大会本部前・フィニッシュ付近での応援は一切認めない。
 - ロ) 鳴り物等による応援は一切禁止とする。
 - ハ) 部旗・横断幕の掲出は禁止とする。
 - ニ) 応援者のスタンド内での飲食を禁止する。
6. 招集について
 - イ) 競技者招集所は南入場口(フィニッシュ地点付近)に設置する。招集開始時間は各組競技開始定刻25分前とし、招集完了時間は各組競技開始定刻15分前とする。(招集完了時間は競技日程を基準とする。)
 - ロ) 招集時は大学受付で配布したナンバーカードをつけたレース用ユニフォームを着用の上で行なうこと。なお、ナンバーカードの着脱は競技場外で行なうこと。
 - リ) 競技者の競技実施エリアへの入場は担当審判員の指示による。
 - ハ) 代理人による点呼は認めない。

7. 棄権について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は不出場届(大会本部指定の用紙を招集所に用意する)に必要事項を記入、捺印し、競技者係(招集所)に提出すること。

8. 競技について

イ) 計時はすべて電気計時(1/100秒)とする。

ロ) 給水は気象条件によって主催者側で用意する。

ハ) スタート後、男子：32分00秒、女子：37分30秒を経過しても残り1周に達しない競技者は失格とし、競技を打ち切る場合がある。

8. 更衣室について

イ) 男子は更衣室A・B、女子はE・Fを使用すること。

ロ) 貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。

9. 国立競技場開門及び閉門について

開門時間を10時30分、閉門時間を20時30分とする。

10. 商標について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

11. その他

イ) 2007年度日本陸上競技連盟規則修改正点に注意すること。

ロ) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち込んではいない。

ハ) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。

ニ) 競技中の事故による怪我等の場合大会本部で応急処置を行うが、以後の治療費等は本人の負担とする。(競技者は保険適用)また、事故の結果について本連盟は責任を負わないものとする。

ホ) 駐車場について

参加校の車両は場内に駐車することはできない。荷物の積み降ろしが終わり次第、一般駐車場等に速やかに移動すること。近辺での路上駐車は厳禁とする。

ヘ) 盗難・紛失について

主催者側で預かった遺失物等については学連控え室で管理するが、その他のものについては一切責任を負わない。

ト) その他不明な点は大会総務まで問い合わせること。